

# 患者さんに“より安全な血液”を!

輸血の安全性を高めるために、検査目的の献血は絶対にしないでください。

輸血医療は他に代わり得るものがなく、生命を救う唯一の手段として行われます。輸血の安全性を確保するため、以下に該当する方は献血をご遠慮ください。

## お願い

- 3日以内に出血を伴う歯科治療（抜歯、歯石除去等）を受けた方
- 4週間以内に海外から帰国（入国）した方
- 1か月以内にピアスの穴をあけた方
- エイズ検査が目的の方
- 6か月以内に下記に該当する方
  - 不特定の異性または新たな異性と性的接触があった
  - 男性どうしの性的接触があった
  - 麻薬・覚せい剤を使用した
  - 上記 (a) ~ (c) に該当する人と性的接触をもった
- 今までに下記に該当する方
  - 輸血（自己血を除く）や臓器の移植を受けた
  - ヒト由来プラセンタ注射薬を使用した
  - 梅毒、C型肝炎、マラリア、シャーガス病にかかった
- ジカウイルス感染症（ジカ熱）と診断され、治療後1か月間を経過していない方

### 以下に該当する方は職員・検診医にお申し出ください

- 3日以内に薬を服用、使用した方
- 1年以内に予防接種を受けた方
- 海外滞在歴について
  - 3年以内に外国（ヨーロッパ、米国、カナダを除く）に滞在した方
  - 昭和55年以降、ヨーロッパ、サウジアラビアに通算1か月以上滞在した方
  - 今までに中南米諸国に通算4週間以上滞在した方

上記以外にも患者さんや献血される方の安全性を確保するため、検診医の判断により献血をご遠慮いただくことがありますので、何卒ご了承くださいませようお願いします。

## 献血の基準と間隔

基準	今回の献血	全血献血	成分献血
年齢	16～69歳※1	400mL 男性17～69歳※1 女性18～69歳※1	血しょう献血 18～69歳※1 男性18～69歳※1 女性18～54歳
体重	男性45kg以上 女性40kg以上	男女とも 50kg以上	男性45kg以上 女性40kg以上
前	200mL献血	男女とも4週間以上	
回	400mL献血	男性は12週間以上 女性は16週間以上	男女とも8週間以上
	血しょう献血		
	血小板献血	男女とも2週間以上	
血色素量	男性12.5g/dL以上 女性12g/dL以上	男性13g/dL以上 女性12.5g/dL以上	12g/dL以上 (赤血球数が標準値にある) 女性11.5g/dL以上
1年※2に献血できる 総献血量・回数	男性は1200mL以内 女性は800mL以内		男女とも血小板成分献血1回を2回分に換算して、血しょう成分献血と合計で24回以内
その他	医師の問診により、献血をお断りする場合があります。		

※1 65～69歳までの方は、60～64歳までに献血の経験がある方に限られます。  
※2 1年は52週として換算。期間の計算は直近の採血を行った日から起算します。

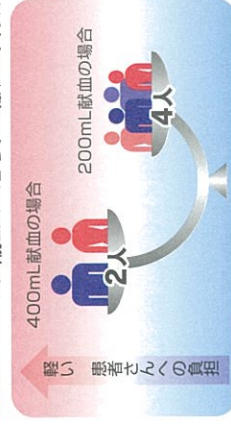
## 400mL献血をお願いします

一人ひとりの血液は、たとえ血液型が同じでも微妙に違ってきます。このため複数の献血者からの血液をあわせて一人の患者さんに輸血することは、副作用（発熱、発疹など）発生の可能性が高くなります。

### ●400mL献血の割合（全血献血）



### ●800mLの輸血に必要な献血者数



400mL献血は患者さんの副作用発生の可能性が低く、安全性が向上します。

マリ工献血ルームでの成分献血にもご協力をお願いします。